

豊田市博物館 アクティブ・ラーニングツアー 学習プログラムモデル29『縄文のむらから古墳のくにへ - 豊田の古代人って、どんな暮らし? -』を活用した実践報告

1 基本情報

来館日時	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ( ● )	到着予定時刻	午前 9 時 30 分
		退館予定時刻	午後 2 時 45 分
学校名	●●小 学校 ( 学年 6 年、学級数 2 学級)		
人数	60 人	内訳	児童生徒 57 人 (うち特支 人) 引率者 3 人
交通手段	使用する交通手段に丸を付けて、台数などを記入してください。 <input checked="" type="checkbox"/> バス (種類: 大型 2 台) <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 乗用車・ワゴン車 台 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
当日の連絡先	連絡先氏名: ●●●● 電話番号: ●●-●●●●		
見学場所	使用する施設に丸を付けてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 美術館		
WE LOVE とよた教育プログラム	<input type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/> 博物館・美術館以外の施設	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する

2 学習内容

教科領域	社会	学習プログラムモデル	利用番号	利用する
				29
単元	縄文のむらから古墳のくにへ - 豊田の古代人って、どんな暮らし? -			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>土器、石器、住居跡から縄文時代と弥生時代の人々の工夫を考える。</li> <li>曾根遺跡公園の中を歩いて観察することで、古代人の生活を実感する。</li> <li>博物館の常設展示を使って調べることで、とよたの歴史に興味をもつ。</li> </ul>			
事前学習	縄文時代や弥生時代の生活の概要を学習しておく。			

受入担当	
エディケーター	●●●●
学芸員	●●●●
パートナー	AM 4人
	PM 4人

3 当日のスケジュール

時刻	1組	2組	先生	エディケーター・学芸員	パートナー
9:45	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	・司会 ・学習課題の確認	・自己紹介	・自己紹介
10:00	移動	移動	<活動ABC>	<活動A>	<活動A>
10:10	■活動A: 縄文時代と弥生時代を比べよう。(セミナールーム) ・実物の土器に触れながら観察し、使い方を考える。	■活動B: 探究課題に取り組みながら、豊田の古代人の生活を調べよう。(常設展示室) ・各学校の探究課題に取り組みながら、古代人の生活の様子に関する情報を集め、学習用タブレットにまとめる。	・活動の進行 ・時間調整 ・グループ分けの指示 ・安全確保	・実物資料の準備 ・気付きを促す助言	・活動の補助
10:20	・縄文時代と弥生時代の貫頭衣を着て比較する。			<活動B>	<活動B>
10:30	・石器を観察し、使い方を考える。			・展示を見るポイントの助言	・活動の補助
10:40	・竪穴住居のつくりを予想する。			<活動C>	<活動C>
10:50				・竪穴住居のつくりや工夫に気づけるような助言	・活動の補助
11:00	移動・休憩	移動・休憩		・新しい問いを生み出す関わり	・安全確保
11:10	■活動B: 探究課題に取り組みながら、豊田の古代人の生活を調べよう。(常設展示室) ・各学校の探究課題に取り組みながら、古代人の生活の様子に関する情報を集め、学習用タブレットにまとめる。	■活動A: 縄文時代と弥生時代を比べよう。(セミナールーム) ・実物の土器に触れながら観察し、使い方を考える。 ・縄文時代と弥生時代の貫頭衣を着て比較する。 ・石器を観察し、使い方を考える。 ・竪穴住居のつくりを予想する。			
11:20					
11:30					
11:40					
11:50					
12:00					
12:10	昼食	昼食			
12:20	(晴天時: 外 雨天時: セミナールーム)	(晴天時: 外 雨天時: セミナールーム)			
12:30					
12:40					
12:50	バス移動	バス移動			
13:00					
13:10	■活動C: 住居跡から古代人の「住」を探ろう(曾根遺跡公園) ・縄文人の住居跡を調査しながら、住居の復元モデルをつくる。	■活動C: 住居跡から古代人の「住」を探ろう(曾根遺跡公園) ・縄文人の住居跡を調査しながら、住居の復元モデルをつくる。			
13:20	・竪穴住居の工夫を見つけ、その意図を考える。	・竪穴住居の工夫を見つけ、その意図を考える。			
13:30	・古墳を見学する。	・古墳を見学する。			
13:40					
13:50					
14:00	■おわりの会 (場所: 曾根遺跡公園) ・児童生徒の感想、学芸員の話等	■おわりの会 (場所: 曾根遺跡公園) ・児童生徒の感想、学芸員の話等	・司会	・進行補助	・進行補助
14:15					

準備物 (学校)
《児童生徒》 弁当、飲み物、筆記用具、 帽子、学習用タブレット、雨具
《教師》 本時のワークシート、救急セット

準備物 (博物館)
活動A 縄文土器、弥生土器、石器など
活動B
活動C 住居模型セット

安全面への配慮
活動C 豊田スタジアムから徒歩で移動するため(10分程度)、交通安全に気をつける。 また、トイレが少ないためできるだけ博物館で済ませる。

雨天時の活動
活動C ・竪穴住居の復元の活動を実施する。 (活動Aでは実施しない)

事後の学習
博物館で学習したことをふまえて、豊田で生活していた古代人の様子について話し合い、考えをまとめていく。

豊田市博物館 アクティブ・ラーニングツアー 学習プログラムモデル27『豊田の地層と化石 -豊田の土地の変化を推測しよう-』を活用した実践報告

1 基本情報

来館日時	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ( ● )	到着予定時刻	午前 9 時 30 分
		地層出発時刻	午後 2 時 45 分
学校名	●●小 学校 ( 学年 6 年 、 学級数 2 学級 )		
人数	57 人	内訳	児童生徒 54 人 (うち特支 人) 引率者 3 人
交通手段	使用する交通手段に丸を付けて、台数などを記入してください。 <input type="checkbox"/> バス ( 種類: 大型 2 台 ) <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 乗用車・ワゴン車 台 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
当日の連絡先	連絡先氏名: ●●●● 電話番号: ●●-●●●●		
見学場所	使用する施設に丸を付けてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 美術館		
WE LOVE とよた教育プログラム	利用しない	博物館・美術館以外の施設	利用する

2 学習内容

教科領域	理科	学習プログラムモデル	利用番号	利用する
				27
単元	豊田の地層と化石 -豊田の土地の変化を推測しよう-			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石発掘の実体験を通して岩石や化石に対する興味・関心を高める。</li> <li>豊田の岩石や化石、地層を観察することで、豊田の土地の変化を推測する。</li> <li>地層が縞模様になっていることに着目して、地層の成り方を理解する。</li> </ul>			
事前学習	『地面の下はどうなっているのか?』のプリントの予想をする。			

受入担当	
エディケーター	●●●●
学芸員	●●●●
パートナー	AM 4人
	PM 4人

3 当日のスケジュール

時刻	1組	2組	先生	エディケーター・学芸員	パートナー
9:45	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	・司会 ・学習課題の確認	・自己紹介	・自己紹介
10:00	移動・準備	移動・準備	<活動ABCD>	<活動A>	<活動A>
10:10	■活動A: 豊田市の地層から化石を取り出して環境を推測しよう (体験室) ・岩石の紹介と体験時の諸注意 豊田の品野層について、安全指導	■活動B: 豊田の地質や地層の成り方を探ろう (常設展示室) ・地層の剥ぎ取り標本の観察やジオラマで調べる。 ・豊田の岩石マップで調べる。	・活動の進行 ・時間調整 ・グループ分けの指示 ・安全確保	・取出体験の助言 ・化石の解説	・活動の補助 ・安全確認
10:20	・化石の取り出し体験 岩石の観察や取り出した化石の記録			<活動B>	<活動B>
10:30	・岩石から取り出した化石の共有	休憩・移動		・展示を見るポイントの助言	・活動の補助
10:40	・出てきた化石をもとに、当時の環境を推測する。	■活動C: 花崗岩を顕微鏡で観察しよう (セミナールーム) ・豊田で多く見られる花崗岩を顕微鏡で観察する。 ・花崗岩を構成する鉱物 (石英、長石、黒雲母) を分類する。		<活動C>	<活動C>
10:50				・資料を見るポイントの助言 ・顕微鏡の操作の助言	・活動の補助
11:00		休憩・移動		<活動D>	<活動D>
11:10	休憩・移動			・活動の進行 ・適宜助言	・活動の補助 ・安全確保
11:20	■活動B: 豊田の地質や地層の成り方を探ろう (常設展示室) ・地層の剥ぎ取り標本の観察やジオラマで調べる。 ・豊田の岩石マップで調べる。	■活動A: 豊田市の地層から化石を取り出して環境を推測しよう (体験室) ・岩石の紹介と体験時の諸注意 豊田の品野層について、安全指導			
11:30		・化石の取り出し体験 岩石の観察や取り出した化石の記録			
11:40		・岩石から取り出した化石の共有			
11:50	休憩・移動	・出てきた化石をもとに、当時の環境を推測する。			
12:00	■活動C: 花崗岩を顕微鏡で観察しよう (セミナールーム) ・豊田で多く見られる花崗岩を顕微鏡で観察する。 ・花崗岩を構成する鉱物 (石英、長石、黒雲母) を分類する。				
12:10					
12:20					
12:30					
12:40	昼食 (晴天時: 外 雨天時: セミナールーム)	昼食 (晴天時: 外 雨天時: セミナールーム)			
12:50					
13:00					
13:10					
13:20	バス移動	バス移動			
13:30					
13:40	■活動D: 田村鉱山で地層を見学しよう (田村町 地層見学地) ①事務所で、田村鉱山の地質や、鉱山から採掘している珪砂について学ぶ。 ②鉱山で地層の見学をする。	■活動D: 田村鉱山で地層を見学しよう (田村町 地層見学地) ①鉱山で地層の見学をする。 ②事務所で、田村鉱山の地質や、鉱山から採掘している珪砂について学ぶ。			
13:50					
14:00					
14:10					
14:20	■おわりの会 (場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等	■おわりの会 (場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等	・司会	・進行補助	・進行補助
14:30					

準備物 (学校)
《児童生徒》 弁当、飲み物、探検バッグ、筆記用具、 帽子、雨具、軍手、レジ袋、ネームペン
《教師》 本時のワークシート、救急セット

準備物 (博物館)
活動A 軍手、ビニル袋、ゴーグル、バッド
活動C 顕微鏡、花崗岩
活動D ヘルメット

安全面への配慮
活動A ハンマーやタガネの使い方を事前説明する。ゴーグルをつけて活動する。
活動D 地層見学の際は、ヘルメットを着用する。

雨天時の活動
活動D 荒天時は、別の活動に置き換える。  珪砂と産業との関わりなど

事後の学習
・校区で拾った岩石などを調べてみる。 ・大地のつくりと変化を学習する。

豊田市博物館 アクティブ・ラーニングツアー 学習プログラムモデル23『豊田から考える環境と未来 -水害と河川事業-』を活用した実践報告

1 基本情報

来館日時	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ( ● )	到着予定時刻	午前 9 時 30 分
		退館予定時刻	午後 2 時 30 分
学校名	●●中 学校 ( 学年 2 年、 学級数 4 学級)		
人数	129 人	内訳	児童生徒 124 人 (うち特支 0 人) 引率者 5 人
交通手段	使用する交通手段に丸を付けて、台数などを記入してください。 <input type="checkbox"/> バス ( 種類: 大型 3 台 ) <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 乗用車・ワゴン車 台 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
当日の連絡先	連絡先氏名: ●●●● 電話番号: ●●-●●●●		
見学場所	使用する施設に丸を付けてください。 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 美術館		
WE LOVE とよた教育プログラム	<input type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/> 博物館・美術館以外の施設	<input type="checkbox"/> 利用しない

2 学習内容

教科領域	総合的な学習の時間	学習プログラムモデル	利用番号	利用する
単元	防災・減災学習			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震を始め、これまでの学びは、震災被害を想定したものが多かったが、豊田市の土地のつくりから、水害被害の危機意識を高めることができる。</li> <li>・自然災害を自分の街で起こる可能性があるものとして、捉えることができる。</li> </ul>			
事前学習	理科「大地の変化 2章 地震」の学習 総合「学区の南海トラフ地震の被害」 総合「HUGから考える避難所運営の課題」 総合「防サイ君による震度7の体験とハザードマップ」			

受入担当	
エディケーター	●●●●
学芸員	●●●●
パートナー	AM 8人
	PM 8人

3 当日のスケジュール

時刻	1組	2組	3組	4組	先生	エディケーター・学芸員	パートナー
9:45	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等		■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等		・司会 ・学習課題の確認	・自己紹介	・自己紹介
10:00	活動A: 豊田市域では過去にどんな災害がおきた? 豊田の災害年表から探ろう! (セミナールーム)		活動A: 豊田市域では過去にどんな災害がおきた? 豊田の災害年表から探ろう! (セミナールーム)		<活動ABCDE> ・活動の進行 ・時間調整 ・グループ分けの指示 ・安全確保  <活動B> ・活動Bの5分前に セミナールームで 待機するように指示。	<活動A> ・展示の着目するポイント の提示  <活動B> ・風化花崗岩と災害との 関連についての助言  <活動CDE> ・活動の補助 ・適宜助言	<活動A> ・活動の補助  <活動B> ・活動の補助 ・体験活動の補助 ・安全確保  <活動CDE> ・活動の補助
10:10							
10:20	■活動B: 豊田で、昔から水害が起きた原因について、風化花崗岩を使って考えよう (体験室)	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)			
10:30							
10:40							
10:50	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)	■活動B: 豊田で、昔から水害が起きた原因について、風化花崗岩を使って考えよう (体験室)	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)	■活動C: 博物館の展示から、豊田の災害を調べよう (展示室)			
11:00							
11:10							
11:20							
11:30							
11:40							
11:50							
12:00							
12:10							
12:20							
12:30	昼食		昼食				
12:40	(晴: 外 雨: セミナールーム)		(晴: 外 雨: セミナールーム)				
12:50							
13:00	活動D: 自然災害 (地震や水害など) に強い豊田にするために、自分達ができることは何か考えよう (セミナールーム)		活動D: 自然災害 (地震や水害など) に強い豊田にするために、自分達ができることは何か考えよう (セミナールーム)				
13:10							
13:20							
13:30	活動E: 博物館を見学して学びを深めよう & 学芸員の先生に個人テーマ設定のアドバイスをもらおう。 (セミナールーム)		活動E: 博物館を見学して学びを深めよう & 学芸員の先生に個人テーマ設定のアドバイスをもらおう。 (セミナールーム)				
13:40							
13:50							
14:00	■おわりの会 (場所: セミナールーム)		■おわりの会 (場所: セミナールーム)		・司会	・進行補助	・進行補助
14:15	・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等		・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等				

準備物 (学校)
《児童生徒》 弁当、飲み物、筆記用具、帽子 学習用タブレット 《教師》 救急セット

準備物 (博物館)
活動A 年表 活動B 風化花崗岩、パッド、 ペットボトルの中に入った花崗岩 活動C 七州城隅櫓の開錠

安全面への配慮
活動B 花崗岩の体験の際にけがをしないように事前指導をする。

雨天時の活動
活動C ・傘をさして実施

事後の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学びを振り返り、藤岡南地区で自然災害から命を守るために自分はどんな学びが必要か、追求すべき個人テーマをもつ。</li> <li>・個人テーマを達成するための見通しをもつ。</li> </ul>

豊田市博物館 アクティブ・ラーニングツアー 学習プログラムモデル35『開国と不平等条約』・45『人物を見つめて』を活用した実践報告

1 基本情報

来館日時	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ( ● )	到着予定時刻	午前 9 時 30 分
		退館予定時刻	午後 2 時 30 分
学校名	●●中 学校 ( 学年 2 年、学級数 4 学級)		
人数	134 人	内訳	児童生徒 125 人 (うち特支 1 人) 引率者 9 人
交通手段	使用する交通手段に丸を付けて、台数などを記入してください。 <input type="checkbox"/> バス (種類: 大型 3 台) <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 乗用車・ワゴン車 台 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
当日の連絡先	連絡先氏名: ●●●● 電話番号: ●●-●●●●		
見学場所	<input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 美術館		
WE LOVE とよた教育プログラム	利用しない 博物館・美術館以外の施設 利用しない		

2 学習内容

教科領域	社会 美術	学習プログラムモデル	利用番号	利用する
				35 45
単元	社会: 欧米の進出と日本開国 美術: 内面を描く			
ねらい	社会: 展示の見学や古文書の読み取りを通して、ペリー来航が当時の豊田市の人々に与えた影響について理解を深めることができる。 美術: 描かれた人物の印象からイメージをひろげ、作者が表現しようとした思いを読み取る。			
事前学習	・社会科(歴史)の教科書P162、163を学習しておく。 ・美術の資料集P132、133を学習しておく。			

受入担当	
エドゥケーター	●●●●
学芸員	●●●●
パートナー	AM 8人
	PM 8人

3 当日のスケジュール

時刻	1組	2組	3組	4組	先生	エドゥケーター・学芸員	パートナー
9:45	■はじめの会(場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等		■はじめの会(場所: 美術館 講堂) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等		・司会 ・学習課題の確認	・自己紹介	・自己紹介
10:00	■活動A: 古文書からペリー来航の影響を 読み解こう!(セミナールーム) ・鈴木家文書を読み取る。 ・古文書の内容をもとに、豊田市域へ与 えた影響を考える。	■活動B: 博物館で探究クイズラリー (常設展示室、展示室1・2) ・博物館の展示を使った探究クイズに 取り組む。	■活動C: 人物を見つめて -エゴン・ シーレー(美術館) ・エゴン・シーレーの作品で対話型鑑賞を 実施する。 ・常設展や企画展の作品を鑑賞する。	■活動C: 人物を見つめて -エゴ ン・シーレー(美術館) ・エゴン・シーレーの作品で対話型鑑賞 を実施する。 ・常設展や企画展の作品を鑑賞する。			
10:10							
10:20							
10:30							
10:40	休憩・移動						
10:50	■活動B: 博物館で探究クイズラリー (常設展示室、展示室1・2) ・博物館の展示を使った探究クイズに取り 組む。	■活動A: 古文書からペリー来航の影 響を読み解こう!(セミナールーム) ・鈴木家文書を読み取る。 ・古文書の内容をもとに、豊田市域へ 与えた影響を考える。	・男女混合2グループで実施				
11:00							
11:10							
11:20	■おわりの会(場所: セミナールーム)		■おわりの会(場所: 美術館 講堂)				
11:30			博物館へ移動				
11:40							
11:50	昼食 (晴: 博物館の外 雨: セミナールーム)		昼食 (晴: 博物館の外 雨: セミナールーム)				
12:00							
12:10							
12:20	美術館へ移動						
12:30	■はじめの会(場所: 美術館 講堂)		■はじめの会(場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等				
12:40	■活動C: 人物を見つめて -エゴン・ シーレー(美術館) ・エゴン・シーレーの作品で対話型鑑賞を 実施する。 ・常設展や企画展の作品を鑑賞する。	■活動C: 人物を見つめて -エゴ ン・シーレー(美術館) ・エゴン・シーレーの作品で対話型鑑賞 を実施する。 ・常設展や企画展の作品を鑑賞する。	■活動A: 古文書からペリー来航の影響を 読み解こう!(セミナールーム) ・鈴木家文書を読み取る。 ・古文書の内容をもとに、豊田市域へ与 えた影響を考える。	■活動B: 博物館で探究クイズラリー (常設展示室、展示室1・2) ・博物館の展示を使った探究クイズに 取り組む。			
12:50							
13:00							
13:10							
13:20			休憩・移動				
13:30	・男女混合2グループで実施		■活動B: 博物館で探究クイズラリー (常設展示室、展示室1・2) ・博物館の展示を使った探究クイズに取り 組む。	■活動A: 古文書からペリー来航の影 響を読み解こう!(セミナールーム) ・鈴木家文書を読み取る。 ・古文書の内容をもとに、豊田市域へ 与えた影響を考える。			
13:40							
13:50							
14:00							
14:10	■おわりの会(場所: 美術館 講堂) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等		■おわりの会(場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等		・司会	・進行補助	・進行補助
14:20							

準備物(学校)
《児童生徒》 弁当、飲み物、筆記用具、 学習用タブレット(肩掛け)、雨具、敷物
《教師》 救急セット

準備物(博物館)
活動A 鈴木家文書
活動B
活動C

安全面への配慮

雨天時の活動

事後の学習
・学んだことを振り返り、新たな疑問をもつ。 ・ペリー来航が、当時の豊田市域の人々に与えた影響について調 べてまとめる。 ・エゴン・シーレーの作品への思いをまとめる。

豊田市博物館 アクティブ・ラーニングツアー 学習プログラムモデル31『戦国の世から天下統一へ』・46『日本の美意識』を活用した実践報告

1 基本情報

来館日時	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ( ● )	到着予定時刻	午前 9 時 30 分
		退館予定時刻	午後 3 時 00 分
学校名	●●小 学校 ( 学年 ● 年、 学級数 ● 学級)		
人数	91 人	内訳	児童生徒 87 人 (うち特支 2 人) 引率者 4 人
交通手段	使用する交通手段に丸を付けて、台数などを記入してください。 <input type="checkbox"/> バス ( 種類: 大型 2 台 ) <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 乗用車・ワゴン車 台 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
当日の連絡先	連絡先氏名: ●●●●●●●●●● 電話番号: ●●-●●-●●●●●●		
見学場所	使用する施設に丸を付けてください。 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 美術館		
WE LOVE とよた教育プログラム	利用しない	博物館・美術館以外の施設	利用しない

2 学習内容

教科領域	社会 総合的な学習の時間	学習プログラムモデル	利用番号	利用する
				31 46
単元	社会：戦国の世から天下統一へ 長篠合戦図屏風と火縄銃 総合：「JAPAN PRIDE」			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館所蔵の長篠合戦図屏風や地形図から読み取ったことを踏まえて、長篠の戦いの様子について理解する。</li> <li>合戦図屏風から日本画の描き方の特徴や復元の様子を知る。</li> <li>茶室での茶道体験を通して、抹茶、生け花、掛け軸や和菓子について学ぶ。</li> </ul>			
事前学習	・社会の教科書 P 6 4 ~ 7 5 を読む。			

受入担当	
エドゥケーター	●●●●
学芸員	●●●●
パートナー	AM 6人
	PM 6人

3 当日のスケジュール

時刻	1組	2組	3組	先生	エドゥケーター・学芸員	パートナー
9:45	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	■はじめの会 (場所: セミナールーム) ・講師の紹介、学習課題の確認、諸注意等	・司会 ・学習課題の確認	・自己紹介	・自己紹介
10:00	移動	移動	移動	<活動ABCD>	<活動A>	<活動ABC>
10:10	活動A：長篠合戦図屏風から信長の戦い方を探ろう (セミナールーム) ・鎌倉鎧と戦国鎧を比較し、理由を考える。 ・屏風や地形図から信長が勝った要因を考える。	活動B：長篠合戦図屏風と西洋画を比較して、日本画の特徴を学ぼう (体験室) ・日本画と西洋画の違いを知る。 ・屏風の描き方の特徴を考える。	活動C：茶室で茶道を学ぼう! (茶室童子苑) ・抹茶体験をする。 ・掛け軸や生け花、お菓子について学ぶ。 ・茶室や庭、高橋節郎館を見学する。	・活動の進行 ・時間調整 ・グループ分けの指示 ・安全確保	・屏風の読み取りの支援	・活動の補助
10:20					<活動B>	<活動D>
10:30					・屏風の描き方に関する解説	・展示を見る際の助言
10:40					<活動C>	
10:50					・見学の支援	
11:00					<活動D>	
11:10	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動		・適宜助言	
11:20	活動C：茶室で茶道を学ぼう! (茶室童子苑) ・抹茶体験をする。 ・掛け軸や生け花、お菓子について学ぶ。 ・茶室や庭、高橋節郎館を見学する。	活動A：長篠合戦図屏風から信長の戦い方を探ろう (セミナールーム) ・鎌倉鎧と戦国鎧を比較し、理由を考える。 ・屏風や地形図から信長が勝った要因を考える。	活動B：長篠合戦図屏風と西洋画を比較して、日本画の特徴を学ぼう (体験室) ・日本画と西洋画の違いを知る。 ・屏風の描き方の特徴を考える。			
11:30						
11:40						
11:50						
12:00						
12:10						
12:20						
12:30	昼食・休憩 (セミナールーム)	昼食・休憩 (セミナールーム)	昼食・休憩 (セミナールーム)			
12:40						
12:50						
13:00	活動B：長篠合戦図屏風と西洋画を比較して、日本画の特徴を学ぼう (体験室) ・日本画と西洋画の違いを知る。 ・屏風の描き方の特徴を考える。	活動C：茶室で茶道を学ぼう! (茶室童子苑) ・抹茶体験をする。 ・掛け軸や生け花、お菓子について学ぶ。 ・茶室や庭、高橋節郎館を見学する。	活動A：長篠合戦図屏風から信長の戦い方を探ろう (セミナールーム) ・鎌倉鎧と戦国鎧を比較し、理由を考える。 ・屏風や地形図から信長が勝った要因を考える。			
13:10						
13:20						
13:30						
13:40						
13:50						
14:00	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動			
14:10	活動D：展示見学 (常設展示室など) ・展示室や屋外展示で探究課題に取り組む。	活動D：展示見学 (常設展示室など) ・展示室や屋外展示で探究課題に取り組む。	活動D：展示見学 (常設展示室など) ・展示室や屋外展示で探究課題に取り組む。			
14:20						
14:30						
14:40	■おわりの会 (場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等	■おわりの会 (場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等	■おわりの会 (場所: セミナールーム) ・児童生徒の感想、学芸員、パートナーの話等	・司会	・進行補助	・進行補助
14:50						

準備物 (学校)
《児童生徒》 探検バック 水筒 弁当 筆記用具 数物 ワークシート (帽子) 《教師》 救急バック タブレット

準備物 (博物館)
活動A 長篠合戦図屏風、戦国鎧、鉄砲 活動B ミニ長篠合戦図屏風、西洋画のコピー 活動C 活動D

安全面への配慮

雨天時の活動

事後の学習
・社会科で戦国・江戸時代の学習を行う。 ・総合的な学習の時間で、博物館で学んだことをまとめて、日本文化についての理解を深める。